広報にいつ
発行所　新津市役所
発行人　新津市長　新総一郎
印刷所　坂爪印刷工業
毎月一回発行

三月議会で審議中

新年度予算など二十七議案を

一般会計　九億四千七百三十万円

昭和四十一年度の当初予算（九億四千七百三十万円）をはじめ、二年度目住居表示実施に伴う町の区域および町名変更など二十七件の議案を審議する三月定例市議会が十一日から三十日まで会期二十日の日程で開かれています。

本会議一日目（十一日）は公営住宅の入居者決定など議案説明が行われた後、市政の基本的な考え方について、市長が所信を表明（別掲）しました。

二日目、（十四日）は、福祉対策、その他、市政全般に関する一般質問と、農業対策、農業後継者対策、その他、市政全般に関する各派代表の質問が行なわれ、三日目（十五日）からは議案の審議に入りました。

本会議四日目（十六日）までに提出されたものは、

。犬税を廃止する条例の一部改正

。住居表示を行なうことに伴なう町の区域の変更と名称の変更と、一部の住居表示する市立の施設等の位置所等を整理する

ための条例

。四十年度の一般会計補正予算

。四十年度国民健康保険会計補正予算

。四十年度水道事業会計補正予算

など六件です。

。住居表示実施区域の新しい町名の付定

。常任委員会に付託されました。

常任委員会は三十日までの間に開かれ細部にわたって検討、審議を行なったあと、いずれも三十日の本会議で可否が決められることになっています。

先月号で住居表示等案にについて具体的にお知らせしましたが、このほぼ

住居表示審議会の答申に基づいて、住居表示実施区域の新しい町名がそれぞれ別図のように決められ去る三月十五日正式に市議会で議決されましたので、四月及び住居番号を施実に使用されるようお願いいたします。

新しく決められた町名は次のとおりです。

本町一丁目（停車場通上番道、西番道、四ノ町の一部）

本町二丁目（上番道、東番道、四ノ町の一部）

新津市大字新津二、九七八番地

本町三丁目（二ノ町、三ノ町、柴町の全部

本町四丁目（一ノ町の全部、中沢、山光の一部）

四ノ町の一部）

下興野町（下興野の一部）

善道町一丁目（西番道、下興野一部）

善道町二丁目（東番道、下興野の一部）

山谷町一丁目（上山谷、下山谷の一部）

山谷町二丁目（下山谷）

山谷町三丁目（上山谷、南町（上山谷、下山谷の一部）

新栄町（新栄町の全部

島島の一部）

なお昭和四十一年度実施予定の区域は、中沢の一部、田家上組、田家宮前、秋興、山光、滝谷本町の一部、滝谷町、滝谷町、滝谷町、草水と

なっておりますが、現地調査、事業内容の説明会など日程が決まり次第ご連絡し、みなさんのご協力をお願いしたいと思っております。亦案に皆手するのは六月以降になる予定であります。

本会議二日目（十四日）は、福祉対策、農業後継者対策、その他、市政全般に関する一般質問と、農業対策、農業後継者対策、その他、市政全般に関する各派代表の質問が行なわれ、三日目（十五日）からは議案の審議に入りました。

本会議四日目（十六日）までに提出されたものは、

。犬税を廃止する条例の一部改正

。住居表示を行なうことに伴なう町の区域の変更と名称の変更と、一部の住居表示する市立の施設等の位置所等を整理する

ための条例

。四十年度の一般会計補正予算

。四十年度国民健康保険会計補正予算

。四十年度水道事業会計補正予算

など六件です。

。住居表示実施区域の新しい町名の付定

。常任委員会に付託されました。

常任委員会は三十日までの間に開かれ細部にわたって検討、審議を行なったあと、いずれも三十日の本会議で可否が決められることになっています。

住居表示２年目

新しい町名４月から実施

町名、駅を起点にきまる

先月号で住居表示等案にについて具体的にお知らせしましたが、このほぼ

住居表示審議会の答申に基づいて、住居表示実施区域の新しい町名がそれぞれ別図のように決められ去る三月十五日正式に市議会で議決されましたので、四月及び住居番号を施実に使用されるようお願いいたします。

新しく決められた町名は次のとおりです。

本町一丁目（停車場通上番道、西番道、四ノ町の一部）

本町二丁目（上番道、東番道、四ノ町の一部）

新津市大字新津二、九七八番地

本町三丁目（二ノ町、三ノ町、柴町の全部

本町四丁目（一ノ町の全部、中沢、山光の一部）

四ノ町の一部）

下興野町（下興野の一部）

善道町一丁目（西番道、下興野一部）

善道町二丁目（東番道、下興野の一部）

山谷町一丁目（上山谷、下山谷の一部）

山谷町二丁目（下山谷）

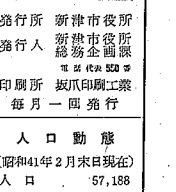
山谷町三丁目（上山谷、南町（上山谷、下山谷の一部）

新栄町（新栄町の全部

島島の一部）

なお昭和四十一年度実施予定の区域は、中沢の一部、田家上組、田家宮前、秋興、山光、滝谷本町の一部、滝谷町、滝谷町、滝谷町、草水と

なっておりますが、現地調査、事業内容の説明会など日程が決まり次第ご連絡し、みなさんのご協力をお願いしたいと思っております。亦案に皆手するのは六月以降になる予定であります。



人口動態
（昭和41年2月末日現在）
人口　57,188
世帯数　12,140
（2月中）
出生　56　死亡　32
婚姻　28　離婚　3
転入　111　転出　116

選管委員

後任きまる

治氏は病気のため二月二十八日付で辞任。後任として、五十嵐金吾氏（市新）が三月一日付就任されました。

新年度は市政

発展の転機

昭和四十一年度は、市政の執行に当たり大きな転機と考えております。

一つは当市の位置づけ、二つは、私は常に自主的に財政再建計画を定めたのであり、私は常に自主的に財政再建計画を定めたのであり、三つは、ますます財政難を増すと思われる財政と諸施策の改善、

一つは当市の位置づけ、二つは、ますます財政難を増すと思われる財政と諸施策の改善、

運命づけられる使命を自覚し、その発展への意欲の活動を開始すべき年であり、二つには、ますます財政難を増すと思われる財政と諸施策の改善、

三